

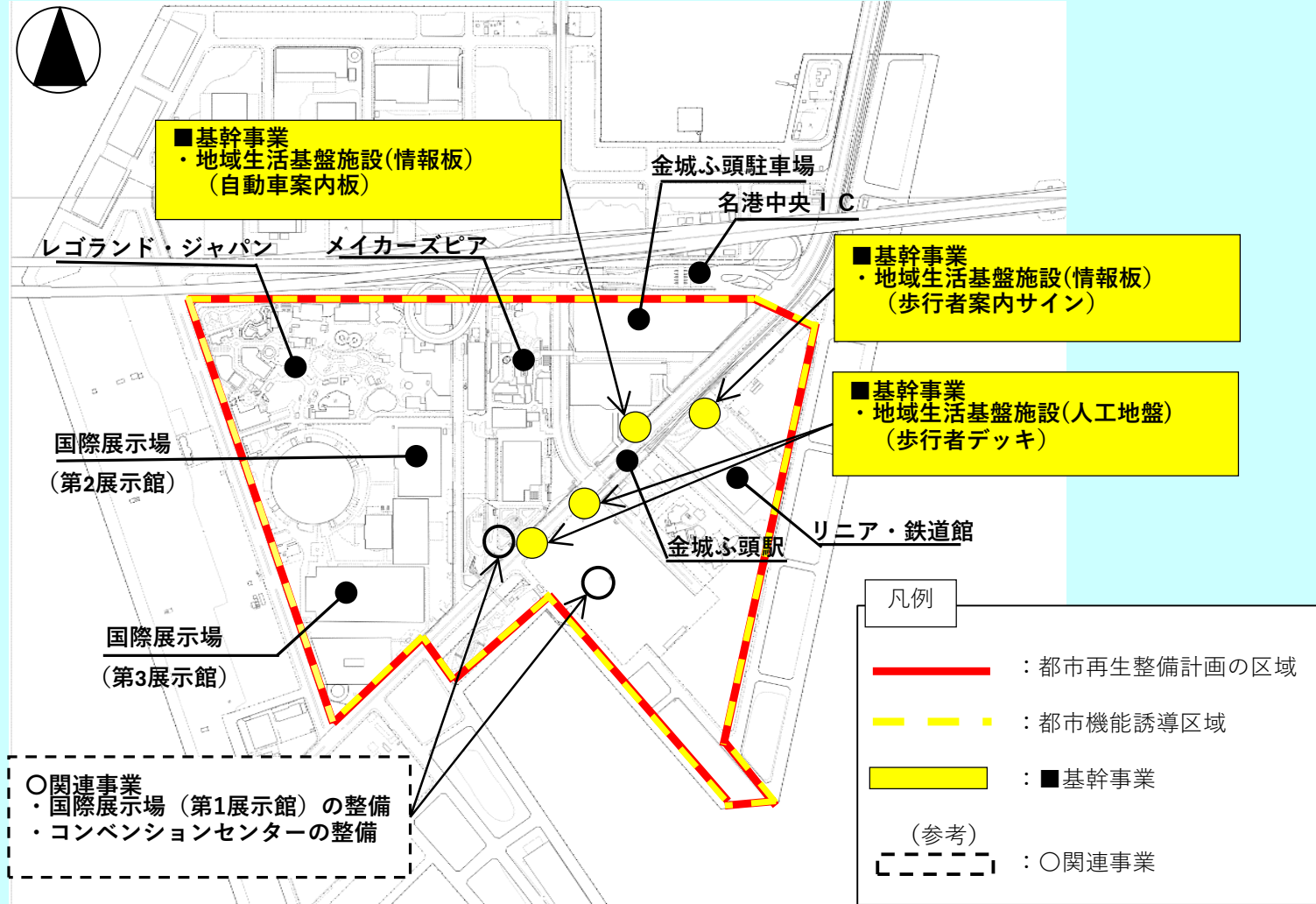
様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	愛知県		市町村名	名古屋市		地区名	金城ふ頭地区(第2期)			面積	88ha		
交付期間	令和3年度～令和6年度		事後評価実施時期	令和7年度		交付対象事業費	1,047百万円	国費率	45%				
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		基幹事業	地域生活基盤施設(人工地盤):歩行者デッキ、地域生活基盤施設(情報板):自動車案内板、地域生活基盤施設(情報板):歩行者案内サイン									
			提案事業	なし									
	当初計画から削除した事業		基幹事業	なし		事業名		削除/追加の理由		削除/追加による目標、指標、数値目標への影響			
			提案事業	なし									
	新たに追加した事業		基幹事業	なし									
			提案事業	なし									
交付期間の変更		当初	令和3年度～令和5年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		なし						
		変更	令和3年度～令和6年度										
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
	指標1	集客施設一体敷地面積	ha	36	R1	40	R6		40	○	あり なし	歩行者デッキを整備したことにより、自動車交通と交錯することなく、安全かつ快適に集客施設を回遊することができるようになり、利便性の向上につながった。	-
	指標2	推計による地区への来訪者数	万人/年	310	R1	400	R6		371	△	あり なし ●	歩行者デッキ、歩行者案内サインを整備したことにより、歩行空間の快適性を向上させ、地区への来訪者数の増加を図ったが、開発の途上であり、高い目標を達成するには至らなかった。	-
指標3	金城ふ頭駐車場利用率	%	73	R1	83	R6		97	○	あり なし	自動車案内板を整備したことにより、地区の集約駐車場である金城ふ頭駐車場へ来訪車両を誘導することができ、地区内の物流交通との調和が図れた。	-	
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
	その他の数値指標1	特定の催事の開催日の名港中央IC誤進入台数	台/日	127	R3				58			自動車案内板を整備したことにより、着実に減少した。	
	その他の数値指標2												
その他の数値指標3													
4)定性的な効果発現状況	歩行者デッキや歩行者案内サインを整備することにより、安全かつ快適な歩行空間を確保でき、集客施設への回遊性や来訪者の利便性の向上につながった。 自動車案内サインを整備することにより、地区内の物流交通との調和が図れた。												
5)実施過程の評価			実施内容				実施状況				今後の対応方針等		
	モニタリング		なし				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった						
	官民連携による取組		本市が建設した歩行者デッキと民間事業者が建設した歩行者デッキを接続し、官民連携による歩行者空間ネットワークを構築				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				一連の歩行者デッキとして機能するよう、開放の時間や清掃の頻度を合わせるなど、官民連携により適切に管理する。		
	持続的なまちづくり体制の構築		なし				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった						

様式2-2 地区の概要

金城ふ頭地区(第2期)(愛知県名古屋市) 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
広域からも人々が訪れるようにぎわいと魅力のある新しい名古屋の名所(交流拠点)づくりを目的とし、名所にふさわしい歩行空間の形成を図るとともに、物流拠点との調和を踏まえた自動車交通の円滑化を図る。	集客施設一体敷地面積	単位: ha	36	R1	40	R6	40	R6
	推計による地区への来訪者数	単位: 万人/年	310	R1	400	R6	371	R6
	金城ふ頭駐車場利用率	単位: %	73	R1	83	R6	97	R6



まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> 歩行者デッキや歩行者案内サインを整備したことにより、金城ふ頭駐車場とあおなみ線 金城ふ頭駅を起点とした安全かつ快適な歩行空間が確保され、地区の回遊性が向上している。 金城ふ頭駐車場の利用率が増加したことにより、地区における物流車両との調和を図ることができた。
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> 金城ふ頭駐車場の建設、交差点改良、歩行者デッキの建設、自動車案内板の設置、歩行者案内サインの設置による一連の交通対策が完成した。とりわけ、歩行者デッキは、本市が建設したものと民間事業者が建設したものを接続して、官民連携による歩行者空間ネットワークを構築したものである。今後は、これらの施設を適切に維持管理するとともに、これらの施設の機能が十分に発揮されるよう、国際展示場で大規模な催事があるとき等の交通対策に取り組む必要がある。 これらの交通対策の結果、金城ふ頭内をうろつく車両が減少し、名港中央IC誤進入台数が減少したが、解消には至っていないので、国際展示場の催事の関係者と連携して、ウェブサイトでの案内など、誘導を強化する必要がある。 歩行者案内サインは、民間事業者と連携して、新しい施設の建設などに合わせて充実を図る。 来訪者数の目標の達成には至らなかったが、引き続き、本市が金城ふ頭の土地利用を調整し、都市基盤施設を適切に維持管理して、レゴランド・ジャパンの拡張をはじめとした開発を促進することで、来訪者数の増加を図る。また、来訪者数の計測は、民間事業者と連携して、精度の向上を図る。